



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日新製糖株式会社

コード番号 2117 URL <http://www.nissin-sugar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 樋口 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 森田 裕

TEL 03-3668-1293

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	24,338	△6.3	1,272	△15.8	1,496	△8.4	745	△25.4
26年3月期第2四半期	25,975	△2.9	1,511	1.2	1,633	4.0	998	19.3

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 883百万円 (△19.2%) 26年3月期第2四半期 1,092百万円 (28.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	101.24	—
26年3月期第2四半期	135.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	56,447	46,939	83.2
26年3月期	56,880	46,487	81.7

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 46,939百万円 26年3月期 46,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△3.6	2,800	△2.8	3,000	△5.3	1,850	△4.2	251.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	7,557,961 株	26年3月期	7,557,961 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	197,068 株	26年3月期	196,962 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	7,360,948 株	26年3月期2Q	7,361,397 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済につきましては、円安基調が持続し、株価は堅調に推移したものの、消費税増税の影響に天候不順が加わり、景気回復に鈍さが見られました。

海外原糖市況につきましては、ニューヨーク市場粗糖先物相場(当限)において1ポンド当たり17.77セントで始まり、5月中旬には世界的な天候懸念による供給の不透明感から今期高値となる18.28セントをつけました。その後は、現物需要の弱さによる在庫過剰感が相場を圧迫し、9月中旬には今期安値となる13.32セントまで下落しましたが、割安感から15.48セントまで値を戻し当第2四半期を終了しました。

一方、国内精糖市況(日本経済新聞掲載、東京)につきましては、粗糖相場の下落と円安が相殺し合った結果、前期末から変わらず上白糖1kg当たり185~186円で当第2四半期を終了しました。

このような状況のもと、砂糖その他食品事業におきましては、第1四半期には家庭用砂糖を中心に消費税増税に対する先取り需要の反動の影響を受けた上、第2四半期には最盛期における天候不順から飲料向け液糖などが振るわなかった結果、前年を下回る販売実績となりました。その結果、売上高は22,618百万円(前年同期比6.8%減)、セグメント利益は1,063百万円(同19.6%減)となりました。

その他の事業におきましては、冷蔵倉庫事業がコンビニ向けの氷の取扱い等が好調で業績を伸ばし、ドゥ・スポーツプラザを運営する健康産業事業の業績も堅調に推移しました。その結果、合計の売上高は1,720百万円(前年同期比1.1%増)、セグメント利益は209百万円(同11.0%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は24,338百万円(前年同期比6.3%減)、営業利益は1,272百万円(同15.8%減)、経常利益は1,496百万円(同8.4%減)となりました。特別損益におきまして、特別損失として健康産業事業に関する会社分割に伴う特別退職金398百万円を計上し、四半期純利益は745百万円(同25.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は25,204百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,118百万円減少しました。これは主に有価証券(譲渡性預金)が2,000百万円減少したことによるものです。固定資産は31,242百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,685百万円増加しました。これは主にタイ砂糖製造販売大手Kaset Thai International Sugar Corporation Public Company Limited株式間接取得等により、投資有価証券が1,656百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は56,447百万円となり、前連結会計年度末に比べ432百万円減少しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は6,301百万円となり、前連結会計年度末に比べ872百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が761百万円減少したことによるものです。固定負債は3,206百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円減少しました。

この結果、総負債は9,508百万円となり、前連結会計年度末に比べ884百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は46,939百万円となり、前連結会計年度末に比べ451百万円増加しました。これは主に四半期純利益745百万円および剰余金の配当441百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は83.2%(前連結会計年度末比1.4ポイント増)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より3,437百万円減少し、1,867百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、50百万円となりました。

主なものは、税金等調整前四半期純利益1,080百万円、減価償却費389百万円、持分法による投資損益△176百万円、特別退職金398百万円、法人税等の支払額△679百万円、ならびに売上債権、たな卸資産、仕入債務、その他流動資産およびその他流動負債の増減△955百万円です。

なお、前年同期に比べ2,217百万円の減少となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益の減少△544百万円、持分法による投資損益の増加△92百万円、特別退職金の増加398百万円、法人税等の支払額の増加△426百万円、ならびに売上債権、たな卸資産、仕入債務、その他流動資産およびその他流動負債の増減△1,592百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,989百万円の支出となりました。

主なものは、余資の運用である有価証券の純増減額△1,200百万円、投資有価証券の取得△1,362百万円です。

なお、前年同期は5,860百万円の支出であり、主なものは、余資の運用である有価証券の純増減額△5,800百万円です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、497百万円の支出となりました。

主なものは、配当金の支払額△442百万円です。

なお、前年同期は478百万円の支出であり、主なものは、配当金の支払額△442百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績の進捗および第3四半期以降の業績見込みを踏まえた結果、平成26年9月29日の「健康産業事業に関する会社分割(簡易新設分割)等および業績予想の修正について」で公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)および「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を従業員の前平均残存勤務期間に基づく割引率から退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しています。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が16百万円増加し、利益剰余金が10百万円増加しています。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,104	1,867
受取手形及び売掛金	4,400	3,793
有価証券	14,950	12,950
商品及び製品	3,130	3,592
仕掛品	319	366
原材料及び貯蔵品	1,895	2,093
その他	523	543
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	27,323	25,204
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,526	8,526
その他(純額)	4,854	4,869
有形固定資産合計	13,381	13,396
無形固定資産		
	241	210
投資その他の資産		
投資有価証券	14,144	15,801
退職給付に係る資産	262	322
その他	1,614	1,599
貸倒引当金	△87	△87
投資その他の資産合計	15,934	17,635
固定資産合計	29,557	31,242
資産合計	56,880	56,447

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,319	2,557
短期借入金	1,100	1,100
未払法人税等	669	325
引当金	344	349
その他	1,740	1,969
流動負債合計	7,174	6,301
固定負債		
引当金	458	442
退職給付に係る負債	185	183
その他	2,574	2,580
固定負債合計	3,218	3,206
負債合計	10,392	9,508
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	12,020	12,020
利益剰余金	25,223	25,537
自己株式	△294	△294
株主資本合計	43,950	44,264
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	469	573
繰延ヘッジ損益	5	45
土地再評価差額金	1,823	1,823
退職給付に係る調整累計額	239	233
その他の包括利益累計額合計	2,537	2,675
純資産合計	46,487	46,939
負債純資産合計	56,880	56,447

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	25,975	24,338
売上原価	21,130	19,746
売上総利益	4,845	4,591
販売費及び一般管理費	3,334	3,319
営業利益	1,511	1,272
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	29	45
持分法による投資利益	84	176
その他	17	9
営業外収益合計	139	239
営業外費用		
支払利息	7	7
支払手数料	4	4
その他	4	3
営業外費用合計	16	15
経常利益	1,633	1,496
特別損失		
固定資産除却損	4	17
投資有価証券売却損	3	—
特別退職金	—	398
特別損失合計	8	416
税金等調整前四半期純利益	1,625	1,080
法人税等	626	335
少数株主損益調整前四半期純利益	998	745
四半期純利益	998	745

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	998	745
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	112	100
繰延ヘッジ損益	△17	39
退職給付に係る調整額	—	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	3
その他の包括利益合計	93	137
四半期包括利益	1,092	883
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,092	883

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,625	1,080
減価償却費	408	389
固定資産除却損	4	17
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5	6
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△57	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3	△16
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△59
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△1
受取利息及び受取配当金	△37	△53
支払利息	7	7
持分法による投資損益 (△は益)	△84	△176
特別退職金	—	398
売上債権の増減額 (△は増加)	1,157	607
たな卸資産の増減額 (△は増加)	213	△714
仕入債務の増減額 (△は減少)	△617	△761
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	117	23
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△233	△111
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△22	△5
その他	△1	2
小計	2,470	634
利息及び配当金の受取額	57	102
利息の支払額	△7	△7
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△253	△679
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,267	50
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	200	—
有価証券の純増減額 (△は増加)	△5,800	△1,200
有形固定資産の取得による支出	△163	△426
投資有価証券の取得による支出	△5	△1,362
資産除去債務の履行による支出	△43	—
無形固定資産の取得による支出	△50	△11
その他	1	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,860	△2,989
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△36	△55
配当金の支払額	△442	△442
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△478	△497
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,072	△3,437
現金及び現金同等物の期首残高	7,806	5,304
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,734	1,867

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。